

入院患者さまに図書室利用サービスを開始して

野口通世 小野ますみ

徳島赤十字病院医療情報課広報学術係

当院は2003年10月、ISO9001の登録施設となった。ISO取得に向け2003年6月から、病院の基本方針7項目に従いすべての業務が行われることになる。ISO取得の最終目的は患者さまの満足であり、図書室は「病院の施設・設備は全て患者さまのもの」という基本方針に沿い、2003年9月、図書室を入院患者さまとご家族に開放することにした。

図書室は長年、医局図書室として医学専門書のみを管理してきたが、ISO取得の取り組みの中で病院全体の図書管理を行うことにし、以後少しずつ病院図書室として機能し始めたところである。患者さまに図書室を開放することを決定したものの患者さま用に図書は購入せず、人員増加がない現状のまま開始するため多くの問題があった。

まず医局会で医師の了解をもらうことにした。医師にとって図書室は本を読む、文献を調べるだけの場所ではなく資料作成やサマリー・書類を書く自分の机の延長上にあり、コールで呼ばれるとカルテを広げたまま席を立つ、パソコンで資料作成中の画面のまま居なくなるということが頻繁にある。そこで、患者さまの利用できる日時を火・水・木曜日の午後2時から4時までと決め、この時間帯は書類等を片付け、室で患者さまの話をしないように頼んだ。また図書室は関係者以外立入禁止区域にあるため、看護部に依頼し図書室を利用したい患者さまは病棟看護師または看護助手が連れて来て、帰るときには病棟に連絡、一人で帰れない患者さまは迎えに来てもらうこととした。しかし、折角患者さまが来られても医学専門書からは自分の知りたいことを探しにくいいため、医師をはじめ職員から患者さま用に医学に関係するものに限り図書の寄贈を募った。同時に薬剤部に相談しMRにも寄贈を依頼した。約300冊集まり患者さま用図書目録を作成、病棟等に配布している。

当院は急性期病院で平均在院日数は約10日と短く、クリティカルパスに沿って治療が行われるため、一旦入院すると時間的余裕はない。現在は利用日を月～金曜日の週5日に増やし、外来受診で入院を勧められた患者さまにも図書室が利用できるパスポートを発行し、入院前に図書室を利用してもらえるようにした。また地域医療支援病院として地域の医療従事者にも利用してもらうため、ホームページに図書案内を掲載し雑誌の新刊案内や所蔵書を情報提供している。開業医が当院へ患者さまを紹介する時等にも役立ててくれるとよいと思っている。

患者さまに図書室を開放しこれまでに延123名が利用、月平均は約6人とわずかである。しかし当院の図書室は利用者を増やすことが目的ではない。医師や看護師、チーム医療に関わる全ての職員がきちんとインフォームド・コンセントを行っていれば患者さまが図書室を利用する必要はないからである。その上でまだ病気について詳しく知りたい、検査や手術の不安を少しでも少なくしたいと図書室に来られる患者さまに対して、満足して頂ける情報提供ができるよう図書室担当者として今後も研鑽を積んでいきたいと考えている。